



しあわせ信州

長野県議会

改革・新風

会派だより

第11号 (2014年) 平成26年1月

発行・編集/改革・新風
長野県庁県議会棟内 (026) 232-0087
発行責任者 倉田 竜彦 印刷所 中外印刷KK
http://www.kaikaku-shinpuu.com

長野県議会 改革・新風 県政対話集会 入場無料

日時: 2014年1月28日(火) 16時00分~

会場: 豊科公民館ホール 安曇野での開催が決定!!

皆様 お気軽にご来場ください

県政へのご意見・ご要望など、どなた様でもご発言可能です。特定の議員や政党を応援する集会ではありません。

今年も会派一同がんばります！



石和 大 (副政策審議会議長)

中川 博司 (副広報企画委員長)

齋 裕一 (政務調査会長)

小島 康晴 (幹事長)

山岸 喜昭 (広報企画委員長)

野澤 徹司 (副代表)

倉田 竜彦 (代表)

竹内 久幸 (副代表)

下沢 順一郎 (幹事長代理・政策審議会議長)

荒井 武志 (副政務調査会長)

吉川 彰一 (財務委員長)

堀場 秀孝 (副政務調査会長)

続木 幹夫 (副広報企画委員長)

依田 明善 (副政策審議会議長)

() 内は会派役員

新しい長野県を目指し、県民生活向上のため、邁進していく決意を新たにしています。

我が国を取り巻く情勢は、固有の領土、主権に対する挑戦や防空圏など危機的状況に置かれ、国内においては、原発、TPPや消費税率引き上げ、特定秘密保護法案の今後の扱いなど重要な課題を抱え、今後の政府の舵とりが注目されているところでもあります。

さて、大変厳しい社会情勢の中、「確かな暮らしが営まれる美しい信

代表年頭ご挨拶

長野県議会「改革・新風」代表 倉田 竜彦



新たな年を迎え、未来へ向けた新しい長野県を目指し、県民生活向上のため、邁進していく決意を新たにしています。

我が国を取り巻く情勢は、固有の領土、主権に対する挑戦や防空圏など危機的状況に置かれ、国内においては、原発、TPPや消費税率引き上げ、特定秘密保護法案の今後の扱いなど重要な課題を抱え、今後の政府の舵とりが注目されているところでもあります。

さて、大変厳しい社会情勢の中、「確かな暮らしが営まれる美しい信

州」を目指した新たな総合5か年計画がスタートしました。人口減少の時代や、経済の成熟化など時代の大きな転換期を迎える中で、我が「改革・新風」は新たな課題や多様な県民のニーズに的確に対応できるように積極的に調査活動を行い、他派に先駆けて改革に取り組んでまいります。

「しあわせ信州創造プラン」を着実に前進させると共に、わかりやすく簡素で効果的な県政運営のため、情報公開を推進し、県民が参画する県政を目指して行きます。本年も県民の皆様方の一層の御指導御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。年頭の挨拶といたします。

11月定例会の報告

補正予算49億6千万円余を可決

県内全域で大雨となった9月の台風18号により被災した道路、河川、農地等の復旧事業を迅速に実施するための37億3千万円。コアな信州ファンづくりを進め、交流を通じて移住、経済交流などを促進するための施設「しあわせ信州シェアスペース(仮称)」を平成26年夏に銀座(東京)に整備するための1億4千万円等の予算案が慎重審査のうえ可決されました。

【補正予算の特色】

- ◆台風18号による災害への対応
 - 災害復旧事業

異常出水による破損や崩落など、被災した道路、河川、農地等の迅速な復旧を図るための事業費(37億3千万円余)
 - 県単独公共事業

集中的な豪雨による倒木、落石等の除去や路肩の修繕等を実施(10億3千万円余)
 - 水産試験場(木曾試験地)の施設整備

本県の重要な養殖魚である信州サーモン及びイワナの親魚養成・産卵に必要な取水施設が被災したため、代替施設を整備(4千万円)
- ◆「信州」の価値向上と発信
 - 新たな首都圏総合活動拠点の整備

「しあわせ信州シェア

特定秘密保護法案に対する意見書提出

当会派は国の特定秘密保護法案について、国民の権利を侵害することがないよう、政府に対して慎重な対応を求める内容の意見書を提出し、本会議において記名投票により採決が行われました。しかし、反対多数によって否決されました。

県政対話集会in南佐久

ニホンジカなどの被害や農業の現状等を調査すべく、10月22、23日と南佐久郡内の視察を行いました。南牧村野辺山高原の林道沿いには、食害にあつたサラサドウダンツツジなどの無残な姿がありました。貴重な樹木や高山植物などが食い荒らされ、大変な危機に瀕していることを改めて確認しました。

また、夕方からは14名の当会派全議員が南佐久郡の八千穂福祉センターに集まり、「県政対話集会」を開催しました。230人もの皆さんが出席され、様々な質問、意見、要望などが出されました。TPP、原発、消費税、特定秘密保護法案、議会改革、農業問題、道路や河

会派県外視察

会派の県外視察で11月5日から7日まで熊本、大分、宮崎をそれぞれ視察しました。

熊本県庁では、2011年のゆるキャラグランプリで1位となった「くまモン」の取組と「子ども輝き条例」について調査。熊本県は毎年1億円かけて様々な「くまモン」のパフォーマンスを仕掛け、「くまモン」の商標を使った製品の売り上げが250億円になるとのことです。信州のアルクマの活用が求められています。

大分県では、世界農業遺産と温泉を活用したエネルギー政策について調査。

世界農業遺産には、日本で、能登や佐渡など6地域が認定され、

川整備における地域要望など、内容は多岐にわたりました。時には質問者にも熱が入り緊迫した場面もありましたが、大変有意義な質疑応答がなされました。今後の南佐久郡の更なる発展に繋げていければと思います。

九州編

大分県ではクヌギ林のため池がたつた国東半島・宇佐の農林水産循環の森の恵み。しいたけの故郷が認定されました。長野県内でも認定の可能性がある地域があるのではないかと思われま

宮崎県では、100万泊県民運動、中山間地、地産地消などの県民運動としての取組、甲子園優勝プロジェクトについて調査しました。





小島康晴の 県政レポート VOL 27

飯田市高羽町3-1-7 TEL・FAX (0265) 23-5388

みなさまのご提言やご要望をお寄せ下さい。

長野県議会 改革・新風

〒380-8570 長野市南長野字幅下692-2
電話(026)232-0087 FAX(026)231-5592
HP://www.kaikaku-shinpuu.com
E-mail:info@kaikaku-shinpuu.com

◆◆謹賀新年◆◆

昨年(2013年)は台風襲来など大変な年になりましたが、今年こそよい年になりましょう。「県民の生活が第一」を本心に、政務活動に誠心誠意取り組みたいと思います。ご意見・ご要望等お気軽にお寄せくださるようお願いいたします。

(公職選挙法により市内への年賀状は欠礼いたします)

11月県議会

よりよい契約条例をめざして

知事公約の二日も早い具現化を!

委員会審査

県政報告第27号をお届けします。今回は一般質問はお休みしましたが、会派の意見書案の提案で本会議場に立ちました。また、建設委員会では、知事が制定を目指している「長野県の契約に関する条例(仮称)」について、入札制度の改善とともに活発な議論がなされました。

私としては、基本的にはこの条例は必要なものであり、同時に入札制度の改善も必要と考えています。経営者にも労働者にも良くなることは、県民全体の利益にもつながります。よりよい制度となるよう議論を深めていきます。

入札制度について

【小島】本県の落札率の状況はどのようか。
 【答弁】24年度の一般競争入札の平均落札率は90.4で、全国平均は90.2である。
 【小島】設計額が適正な費用ということであれば100%にもっと近づいてほしいが、1割も差があつては建設業は成り立たない。

【小島】包括外部監査報告で指摘がある印刷の低額受注について、庁内の研究会では取り上げられないか。
 【答弁】印刷担当部署も研究会に参加しており承知している。

契約に関する条例について

【小島】男性の賃金総支給額で建設業と全産業とで26%の差があるというが、条例ではこの改善も目標としているか?
 【答弁】企業の社会的責任として適正な賃金を確保し、働く方にも良い制度となるよう検討している。

【小島】先進の欧米では、ダンピングの排除や品質の確保、優良な業者への支援が目的とされている。契約の当事者としての県の責務は?
 【答弁】県も道路管理者として、JRとしっかり協議したい。

特定秘密保護法案に対する慎重な対応を求める意見書(案)

【案文(前段落)】
 行政機関が保有する文書等は、主権者である国民に対する説明責任を果たすため情報公開制度の対象とされることが基本であり、広範な情報を特定秘密に指定することに

わが会派が提出し私が提案説明を行った意見書は残念ながら23対33で否決されました。引き続き国民の知る権利等が侵害されないよう取り組みます。



活発に委員会質疑

【答弁】契約が確実に履行されるために必要な措置をとる、と謳っている。
 【小島】審議会の委員には現場をよく知る経営者や労働者を加えるよう求める。権限等についても明確にすべき。
 【答弁】パブリックコメントも踏まえ、さらに検討する。

リニア中央新幹線について

【小島】アクセス道路等は広域にわたるので県が発案すべき。
 【答弁】勉強会でどういうものが必要か議論しており、誰が作るかも併せて検討する。

【小島】発生土の運搬等で不安の声もあるが?
 【答弁】県も道路管理者として、JRとしっかり協議したい。

宮城・福島を視察

危機管理建設委員会の県外調査で、南三陸町役場、陸上自衛隊多賀城駐屯地、海上保安本部仙台航空基地、福島県庁に伺いました。また、別の企画で相馬市の被災地や備蓄倉庫を視察しました。これまで岩手県や宮城県には何度か伺いましたが、福島県は初めてでした。原発事故が復旧や復興に大きく影響を落としていることがよく分かりました。現地の声をよく聞いて、国がしっかりと支援すべきと痛感しました。



土石流体験車に試乗

諏訪湖畔で防災訓練

11月3日には諏訪湖畔で県の総合防災訓練が行われました。東日本大震災の例を待たずともなく、日頃の備えの大切さを改めて痛感しました。

広がる三遠南信の交流

10月30日「三遠南信サミット」が開催されました。浜松市、豊橋市、飯田市の持ち回りで7巡し、今回で21回目となりました。



住民セッション

先だって行われた「住民セッション」では、たくさんのお取組事例が報告され、交流の深まりを実感できました。行政関係者の手を借りず、住民団体の皆さんの手作りによる運営はすばらしいものでした。後の交流会の中で、県としても「元気づくり支援金」などで、こうした県境を越えた交流に支援をとの要望をいただきました。

また、りんご並木60周年にちなみ、東野まちづくり会議では浜松市のフルーツパークを訪れました。ここに交流の



交流記念植樹

長野県産の日本酒の振興を

今議会において、長野県産の日本酒のブランド化や消費拡大を支援するため、全議員が参加して「信州の日本酒で乾杯議員連盟」が設立されました。長野県には新潟県に次いで多い82の蔵元があり、地域産業の大切な柱となっております。しかし、近年は需要が落ち込み、厳しい状況におかれています。いっそうの活性化を図らなければなりません。



5年ぶりに記名採決

会派の南佐久方面の調査では、佐久穂町の黒澤酒造さんを視察しました。



酒蔵の中を見学

松川切石大橋が完成



11月10日羽場大瀬木線が切石までようやく開通しました。部分供用のため渋滞など課題もあります。一日も早く飯田インターまでつながるよう取り組みます。